

・ 検査単位数 (UT、外観) について

P1

溶接線1単位300mmについて10mm以上超えていたら2単位 (310mm) とする。
ただし、工事に指示が有る場合がある。)

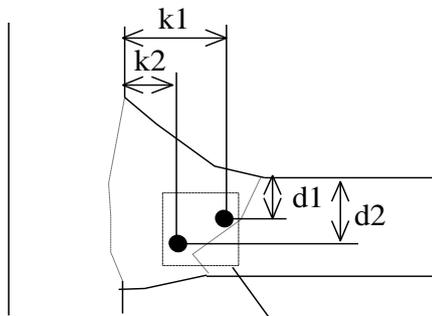
・ 同一欠陥群について

1 同一欠陥群と判断する条件

近接する2個以上の欠陥指示が、下記の3つの条件をすべて満足するとき「同一欠陥群」とする。1個でも条件が満たされないときはそれぞれ独立した欠陥とする。

①同一断面内にあること $\Delta k = |k_1 - k_2| \leq ?_0$ $?_0 = \text{欠陥指示長さの最小値}$

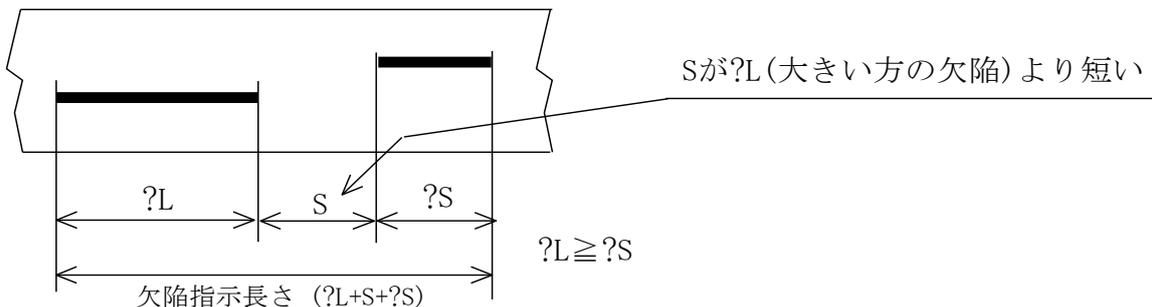
②同一深さにあること $\Delta d = |d_1 - d_2| \leq ?_0$



・ 欠陥同士が板厚の1/4以内にあること。
但し $t = 6\text{mm}$ 以上 20mm 以下は 5mm 以内、
 $t = 48\text{mm}$ を超えるものは 12mm 以内。

③欠陥と欠陥の間隔が大きい方の欠陥指示長さ以下

$$S \leq ?L$$



・同一欠陥群

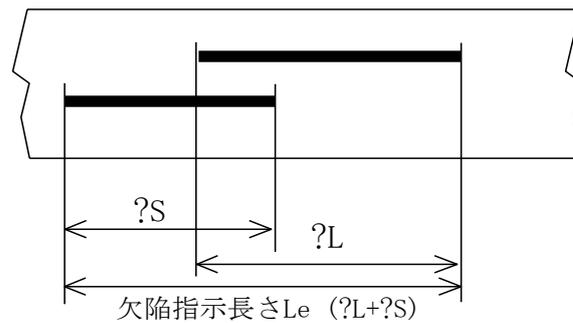
2 同一欠陥群の評価長さ

Le: 欠陥評価長さ

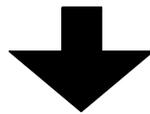
?L, ?S: 欠陥指示長さ ($?L \geq ?S$)

1) 欠陥指示が重なっている場合

$$Le = ?L + ?S$$



注) 欠陥指示の重なりが短い方の欠陥指示長さの1/2以上ある時は、同一欠陥と判断されることがある。



同一欠陥になる条件は

- ① 同一断面・同一深さである
 - ② 探傷方法が異なっている (直射と一回反射による探傷)
 - ③ 欠陥指示の重なりが短い方の欠陥指示長さの1/2以上ある
- ①②③の条件が揃えば同一欠陥となる

2) 欠陥指示に間隔がある場合

$$Le = ?L + S + ?S \quad (S \leq ?L)$$

